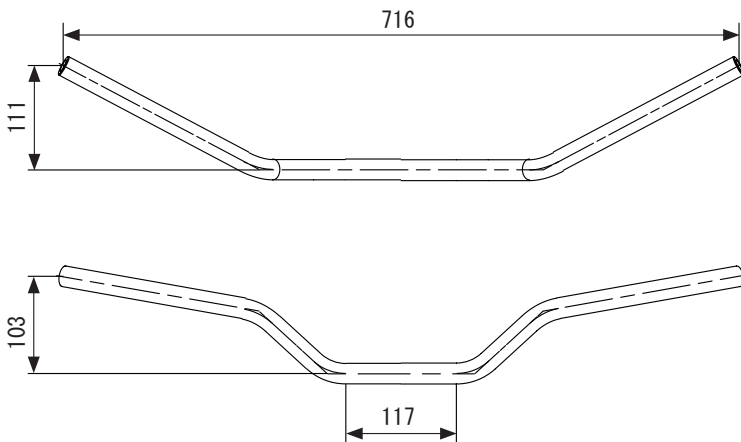


# アルミステアリングハンドル（ロータイプ）取扱説明書

|      |                     |
|------|---------------------|
| 製品番号 | 06-01-2519（マットシルバー） |
|      | 06-01-2520（マットブラック） |
|      | 06-01-2521（マットブルー）  |
|      | 06-01-2522（マットゴールド） |

|                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 適応車種及び<br>フレーム番号 | GROM (JC61-1000001 ~ 1299999) |
|                  | (JC61-1300001 ~ )             |
|                  | (JC75-1000001 ~ )             |
|                  | MSX125                        |
|                  | MSX125SF                      |



※ハンドルパイプ径 22.2mm（内径 14mm）  
 ※ハンドルバーエンドは汎用品、内径 14mm が使用可能な  
 タイプをご使用下さい。

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

このステアリングハンドルは、ノーマルハンドル位置から絞り角、高さを調整し、ロースタイル、ワイドポジションへ、ライディングポジションを変更しております。

軽量アルミ合金を使用し、カラーアルマイト処理をしております。

又、各ハウジング位置決め穴加工済みですので、ボルトオンで取り付け出来る GROM、MSX125 専用のステアリングハンドルバーです。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎純正のハンドルウエイトは取り付け出来ません。ご了承下さい。

◎別売のアルミステアリングハンドル対応のハンドルバーエンドが必要となります。別途お買い求め下さい。

詳しくは弊社パーツカタログ又は WEB ページをご確認下さい。

ホームページ：www.takegawa.co.jp

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■ハンドルバー両端部には、エッジ及びカエリ等がある場合があります。作業は充分注意して行って下さい。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

（部品の脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■転倒などをした場合、必ず各部を点検しクラック等の異常が有る場合はそのまま使用せず、部品交換を行ってください。

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等ご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

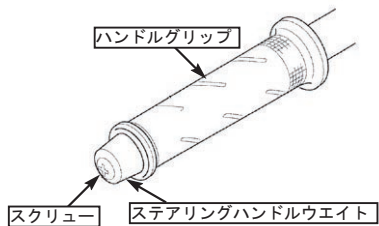
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

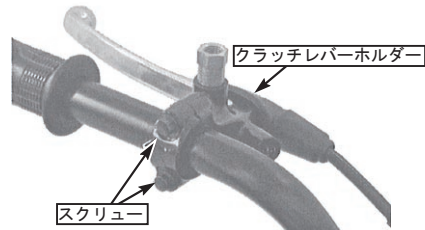
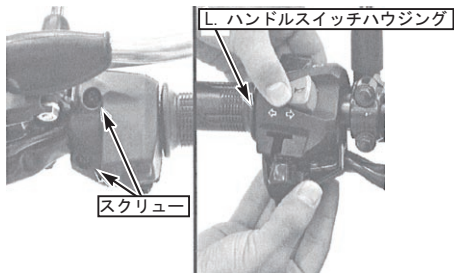
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

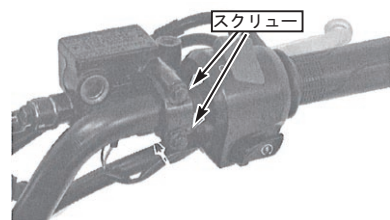
○L/R ハンドルウエイト部のスクリーをを外し、ハンドルウエイトを取り外します。



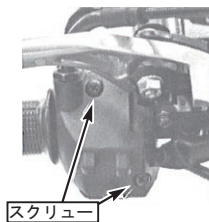
○バックミラー / ワイヤバンドを外し、L. ハンドルバースイッチ及びクラッチレバーホルダーのスクリーを外し、ハンドルバーからスイッチ及びクラッチレバーホルダーを取り外します。



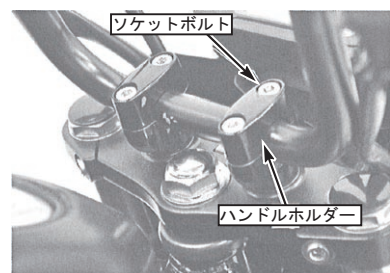
○フロントマスターシリンダーホルダーのスクリーを外し、フロントマスターシリンダーホルダーを取り外します。



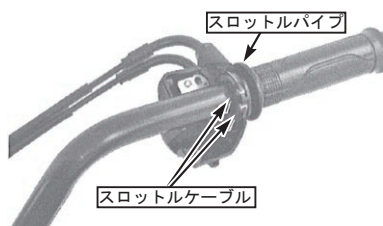
○R. ハンドルバースイッチのスクリー 2本を取り外します。



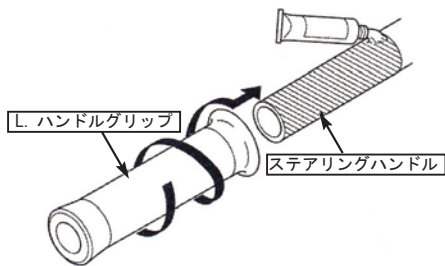
○ハンドルホルダーのソケットボルトを外し、ハンドルバーを取り外します。



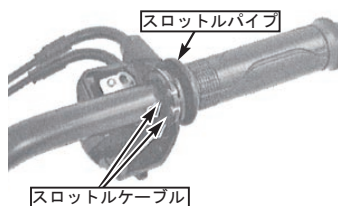
○ハンドルバーからスロットルケーブルの接続を外し、スロットルパイプを取り外します。



○キットのステアリングハンドルのL. グリップ部接着面にセメダイン #540 を薄く塗布し、使用するグリップを回しながら取り付けます。



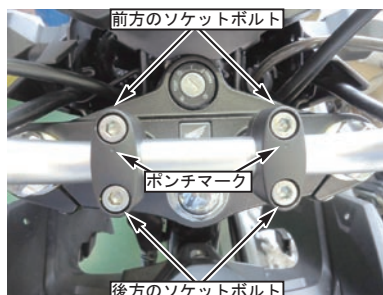
○キットのステアリングハンドルのスロットルパイプ摺動部に薄くグリースを塗布しステアリングハンドルに取り外しと逆手順でスロットルパイプを取り付けスロットルケーブルを接続します。



○ステアリングハンドルをロウホルダーに取り付け、アッパーホルダーのポンチマークを前方に合せ取り付けます。



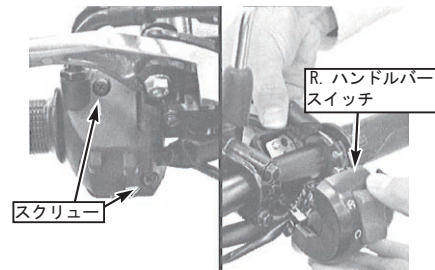
○ステアリングハンドルの位置を仮調整し、各ハンドルホルダーの前方のソケットボルトを仮締めした後、後方のソケットボルトを仮締めします。



○フロントマスターシリンダーホルダーを取り付けます。

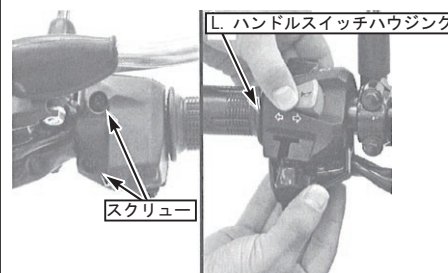
○スロットルケーブルの接続部に少量のグリースを塗布し、R. ハンドルバースイッチ位置決めピンをステアリングハンドルの穴位置に合せスクリー 2本を取り付け締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリー  
トルク：2.5N・m (0.26kgf・m)



○クラッチレバーホルダーを取り付けます。  
○L. ハンドルバースイッチ位置決めピンをステアリングハンドルの穴位置に合せスクリー 2本を取り付け締め付けます。

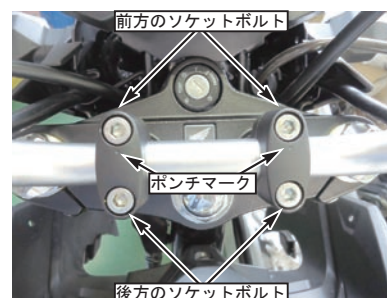
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリー  
トルク：2.5N・m (0.26kgf・m)



○純正ステアリングハンドルより、低いポジション設定としております。各ワイヤーハーネス、ブレーキホース、クラッチケーブル等、取り回しの変更が必要となります。仮調整し取り付けしたステアリングハンドル位置に、フロントブレーキレバーホルダー及びクラッチレバーホルダーを仮締めし、ケーブル類、ブレーキホース類の取り回しを調整します。GROM 2016 モデル及びMSX125SF (2016 モデル) はカウリングとブレーキホースとのクリアランスが確保出来る範囲でステアリングハンドル位置を調整して下さい。

○ステアリングハンドルの位置を調整し、ハンドルホルダーの前方のソケットボルトを規定トルクで締め付けた後、後方のソケットボルトを規定トルクで締め付けます。

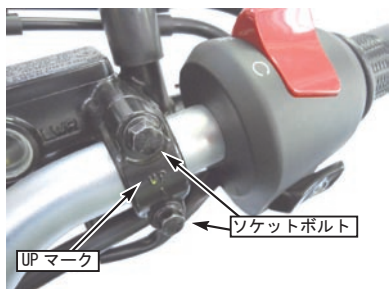
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットボルト  
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○フロントブレーキレバー及びクラッチレバーの位置を調整し、各ホルダーの上側のボルトを規定トルクで締め付けた後、下側のボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○バックミラー / ワイヤーバンドを取り付けます。

○別売のハンドルバーエンドを取り付けます。